

くらしの資金(夏期)のお知らせ

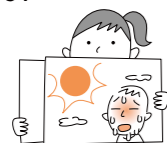
疾病や失業等により、一時的にお金のやりくり困ったり、緊急に資金を必要とする世帯のために「くらしの資金」の相談を受付けます。

受付期間 7月1日(月)～7月12日(金)
午前9時～午後4時
(土日を除く) ◎要予約

貸付限度額 1世帯あたり10万円以内

【お問い合わせ】
地域福祉課 ☎932-1961

手作り紙芝居を一緒に楽しもう!



紙芝居「熱中症・防災」いろいろと体験あるよ!

日時 7月20日(土)
午前10時～11時30分

場所 向日市福祉会館 2階
機能訓練室

対象 障がい児(18歳以下)及びその家族(介助者含む)

定員 30名
講師 手作り絵本 A&N
永野ゆち子さん 井上水ほさん

参加費 無料

【申込先】向日市協障がい者地域生活支援センター ☎932-1990 (土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時)

善意のご寄付ありがとうございました

(平成31年3月27日～令和元年5月22日)

乙訓明るい社会づくり運動の会	10,000円
イオンリテール株式会社	39,000円
ダイエーイオン	4,850円
フードスタイル東向日店	1,000円
匿名	1,000円

みんなで防災チャレンジ

災害時に備えた地域づくりへの関心を高めるため、全2回の防災ワークショップを開催します。小さなお子様がいるご家庭での備えや非常食の試食、防災マップの使い方などについて学びます。

日程 全2回

1回目: 7月26日(金)
2回目: 8月2日(金)

時間 午前10時30分～正午

場所 向日市福祉会館3階 大会議室

対象 向日市在住の方(子育て世代の参加もお待ちしております!)

定員 30名程度

講師 1回目: NPO法人ママふぁん
関西 代表理事 戎 多麻枝さん
2回目: 向日市立寺戸中学校
教員 宮澤 之裕さん

費用 無料

【申込先】地域福祉課 ☎932-1961 (土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時)

※一時保育あり(1歳～未就学児15人、定員になり次第締め切り)保育希望者は問い合わせください。1歳未満は、一緒にご入室ください。



アルバイト・パート職員の募集

デイサービスセンターで、高齢者を支えるやりがいのあるお仕事です! 私たちと一緒に始めてみませんか?

①ケアワーカー(介護職員)

【時間】 ④午前9時30分～午後5時30分
⑥午後1時30分～午後6時15分
※週2回以上働ける方

【時給】 1,200円～

【資格】 資格不問 ◎経験のある方歓迎

②送迎ドライバー

【時間】 午前8時20分～、午後4時30分～
(1日実働3h程度)
※朝夕で勤務可能な方に限る
※週3日～4日働ける方

【時給】 1,100円～

【資格】 普通自動車免許(AT限定可)

③送迎添乗員

【時間】 午前8時30分～、午後4時30分～
(1日実働3h程度)
※運転はありません
※週2回以上働ける方

【時給】 890円～ **【資格】** 資格不問



【休日】 ①～③シフト制
(日曜、年末年始等)

【待遇】 ①～③交通費規定支給・労災保険加入・ユニフォーム貸与・健康診断・年次有給休暇・自転車・バイクでの通勤可(自動車不可)、①のみ資格取得制度

【応募】 デイサービスセンター採用担当者までお気軽にお電話ください。

☎075-931-3294 (受付/日曜除く午前10時～午後6時15分)

7つのまちがい探し 歩こう会・ハイキング・トレッキング・登山

ハイキング(hiking)は軽装で一定の距離やコースを歩き、健康維持や景色を楽しむことに主な目的があります。登山はmountain climbingを直訳したもの。トレッキングはハイキングと登山の間といえるでしょう。



***応募方法**
はがき又はFAXに、①回答②氏名③住所④年齢⑤今回で特に関心があった記事(複数回答可)⑥「福祉パレット」を読まれた感想を書いてお送りください。正解者の中から抽選で5名に図書カードをプレゼントします。

***締め切り** 令和元年8月5日(月)まで必着

***送り先** 〒617-0002
向日市寺戸町西野辺1-7
向日市福祉会館内 総務課
FAX.933-4425

平成31年3月号の答え「西遊記」
①三蔵法師の頭の飾り②孫悟空の頭の輪③孫悟空のベルトのマーク④猪八戒の上着の裾⑤沙悟浄の頭の皿⑥岩の高さ⑦雲の位置

福祉パレット

ご近所福祉のまち 向日市をめざして

高校生が認知症サポーターとして活躍

向日市社協は毎年、私立京都西山高校に出張して「認知症サポーター養成講座」を開催しています。「講座では、私たちがすべてやってしまうと、その人の役割を奪うことになる」と話すのは、今年受講した橋本愛可さん、飯泉珠音さん、井川桃花さん。3人は「皆さんに『自分でやってみよう!』とってもらえるような関わり方ができる認知症サポーターを目指しています」と学んだことを実践中。5月31日には、市内の介護保険施設を訪ねました。



超高齢社会に向けて
地域の事業所・団体(19団体)がコラボ!

顔が見える
地域づくりに向けて

東向日いきいきまつり を開催

向日市社協では、地域の事業所・団体に地域貢献活動への取組みを呼び掛けています。

地域全体が高齢化し、住民(お客様)のニーズ変化に地域の事業所や団体でも認知症サポーターの研修をしたり、困りごとの対応など、様々な取組みをしています。

ますます進む高齢化に対して、身体が不自由になっても、認知症が出てきても、可能な限り住み慣れた地域で暮らしたいという課題に対して、福祉や介護の業界はもちろん、地域の事業所・団体、ご近所の助け合いなど、地域全体で地域づくりを進める機運が高まっています。



笑顔でつなぐ地域福祉

社協のホームヘルプセンターでは、要介護・要支援の認定を受けた方を訪問し、利用者の日常生活をサポートしています。このシリーズでは、利用者の声を紹介していきます。

話し相手ができる
できてうれしい

藤木 茂さん(75歳)



奥様が他界されてから、一人で暮らしている藤木さん。ヘルパー利用を始めたのは平成29年、股関節の持病が悪化して、自宅前で転倒したことがきっかけでした。「それまでは手押し車で買い物に行っていたのですが、だんだん歩くのがつらくなって。ヘルパーさんを頼めば家事を手伝ってもらえると教えてもらい、利用を決めました」と話します。

ヘルパーの訪問は、火・金曜日の週2回。掃除や洗濯、買い物の同行などの家事支援、週2回利用しているデイサービスの準備などが主な支援内容です。このほか月1回、ATMや通院の同行も利用しています。

几帳面できれい好きの藤木さん。立ち座りが難しいため、ヘルパー利用前は掃除ができず困っていましたが、今はきれいな部屋で快適に過ごしています。しかし藤木さんにとって何よりうれしいのは、話し相手のできたこと。「ヘルパーさんと世間話をするのが楽しみなんです」と、週2回の訪問を心待ちにしています。

普段は夜7時までには就寝し、夜中に起きて録画したテレビ番組を観るのが日課だそう。「相撲が始まると、朝方にやっている大相撲ダイジェストを観ることが多いです」と、マイペースな生活を楽しんでいます。

ヘルパーは年1回、交代します。「慣れた頃に代わるからねえ」と言いますが、社交的な藤木さん、新しいヘルパーとの関係も良好なようです。

地域貢献に取組む事業所・団体 インタビュー

お客様の大半は高齢者です。家に閉じこもらずにいつまでも元気に買い物に来てほしい。そんな思いで地域貢献しようとしてまつりに参加しました。当日はまつりの会場を提供したり、ぜんざいコーナーを担当しました。馴染みのお客様の他、多くの高齢者に来場いただき、活気のある催しになりました。まつりで配られた「訪問取引お断りステッカー」を家に貼っていただいているお客様も多く、良かったと思います。

普段の買い物では認知症の方も来られます。認知症関連のセミナーなどにも参加して、高齢者の皆様に安心してご利用いただけるような店づくりをしていきたいと思えます。



ライフシティ東向日
(山下とうふ店)
佐々木 潔さん

向日町店に異動になり、早1年。地域に早く溶け込もうと考え、まつりに参加させていただきました。

今回はメガネご使用の方に喜んでいただけるよう「メガネのクリーニング」、タブレットで簡単に聞こえの確認ができる「耳年齢チェック」をいたしました。メガネのネジが緩んでいる方や聞こえでお悩みの方も多く、大変喜んでいただきました。また地域の皆さんにお店のことを知っていただく機会にもなり有意義でした。

向日市は全国で3番目に面積が狭く、地域密着性が強い地域と感じています。「顔が見える地域づくり」にますます力を入れていただき、高齢者が安心して過ごせるよう私どもも微力ながら「メガネ」補聴器を通じ、貢献していきたいと考えています。



メガネの三城
向日町店
石田 太郎さん

事業者の方々が地域のためにさまざまな取組みをされていると知り、私たちも地域貢献できればと、まつりに参加しました。

当日は、振り込め詐欺防止を啓発したり、お子さん向けにぬりえを用意しました。他の事業者の方々と共に取組む中で再認識したのは、皆さんお節介までに丁寧にお客様に対応されていること、そしてそままでして初めて地域のつながりが生まれるということです。特殊詐欺が多い今、銀行は高齢者を守る役割も担います。私たちも“おせっかい”を大事にしながら、地域の方々の「しあわせづくり」をサポートできればと思います。



京都信用金庫
東向日支店
飯塚 元彦さん

来迎寺に作った地域交流スペース「釈迦fe」で寺子屋をさせていただいています。

学習支援の場や子どもの居場所として提供しています。

まつりに参加したのは地域の方々とつながり、お寺を知ってもらい、地域の皆様のお役にたてる存在でありたいと思っているからです。

まつりでは「釈迦fe」に来てくれている子どもたちが作った「もぐらたたきゲーム」と綿菓子を提供しました。ゲームを楽しんでもらったり、綿菓子を作ったり、子どもたちは楽しみながら、大変活躍してくれました。

私もさらに地域の方々とつながり、地域に貢献していきたいと思っています。



寺戸来迎寺
福井 ともみさん